

http://www.matsuimachine.co.jp



下川です

本日のお題は…
松井鋼材の
“IoT”への取組

昨今、話題に成っている、
IoT (Internet of Things) への
弊社の取組をご紹介します。

先ず、IoTとは。

全てのモノがインターネットに繋がる事で(通信機能)、それぞれのモノから個別の情報を取得でき、その情報を元に最適な方法でそのモノを制御できるという仕組みであると定義されています。

その効果としては、“今まで、出来ている”という思いによって、見過ごされている状況を、“みえーる化”(データの可視化)する事で効率改善に繋がると考えられます。



1 IoTで離れたモノを操作する遠隔制御が出来ます。

▼
モノをリモコンで操作出来ます。



2 IoTで離れたモノの状態を知る遠隔監視が出来ます。

▼
モノにセンサーを付けてデータを収集出来ます。



3 IoTで離れたモノ同士が、任意でデータの送受信が出来ます。

▼
インターネットを利用して繋がる。



もっと簡単にいえば、スマートフォンで、ご家庭のエアコンや冷蔵庫、テレビ等の操作もIoTだと言えます。

弊社での IoT取組事例

取組 1

切断機・操作時の入力ミス防止、作業時間の短縮



作業指示書への切断内容の QR コードの添付。

オペレーターは、QR コードを、機械に読み取らせ、
入力された数値を確認、相違がなければ運転スタート。

* スーパーやコンビニのレジでよく目にする読取器です。



① オペレーターへの作業指示書に QR コードを添付。

② 切断機の QR コードの読取化。

弊社・新型機には、QR コード読取機能が付加されています。

③ 既存機にも、後付で QR 読取機能の付加が可能です（条件有り）。

弊社・既存機へは、機能を付加し運転中。



取組 2

データの“みえーる化”（データの可視化）>テスト運転中

① 切断データの“みえーる化”

通信機能を付加

最適な切断条件の収集、分析。

② 各々の機械稼働状況の把握

超硬丸鋸刃の交換時期の把握（精度不良品を作らない）。
機械の異常の早期発見、稼働状況の把握。

御用命は
マツイマシンへ!!

